



教えて!JA

農業に関する質問にお答えします!



ニガウリの栽培

A Q

ニガウリを栽培したいので、留意点などを教えてほしいです。

【**ほ場の準備**】定植の1か月前に苦土石灰を1㎡当たり120g施して深く耕します。定植の1週間前には基肥として緩効性肥

料を1㎡当たり150g施します。幅120cmの畝を立ててマルチをかけ、1条植とし、2m間隔で定植用の穴を開けます。【**播種・育苗**】直径9cmのポットに2粒ずつ播種します。播種後は十分灌水し、保温のできるハウス内などで育苗します。

【**定植・管理**】本葉3枚の頃に定植し、親づるの下位5節の子づるは除きます。親づるを高さ60〜70cmくらいで摘芯し、勢いのよい子づるを5〜6本、扇形に配置します。支柱はキュウリと同じように立てますが、長い(高い)方がよく生育します。キュウリネットなどを利用し、葉が重ならないようにつるを誘引します。5月下旬ごろまではあんどんなどで保温・防風します。

【**追肥**】収穫始め頃から、3週間おきに1株当たり高度化成肥料を30g追肥します。

【**収穫**】若どりするので収穫時期に注意します。見落とすとすぐに果実が色づき、果皮が裂けてしまいます。



今津営農経済センター
施設販売課
中川 雄亮

ワンポイント アドバイス

病気には強い野菜ですが、アブラムシ類、ハダニ類はしばしば発生します。日頃からよく観察して、早めの防除に努めましょう。



サツマイモの栽培

A Q

サツマイモの苗を購入したのですが、栽培についての留意点などを教えてほしいです。

【**ほ場の準備**】酸性土壌でも作れるので石灰は必要としません。基肥として、1㎡当たり低度化

成肥料50gを施して耕耘し、幅80cmの高畝を立てます。肥沃な土壌では、無肥料栽培もできます。また、マルチを張ると除草の手間が省けます。窒素肥料が多過ぎるとつるポケしやすいので気をつけてください。

【**定植**】5月下旬〜6月上旬にかけて挿し苗により定植します。地温が充分上がってから定植するのがポイントで、地温の低い時期に無理に定植しても根が肥大せず、ほとんど収穫できません。1条植えが基本で、株間は40cmとします。土中にある葉の付け根(節)から出た根が肥大してイモになります。【**管理**】盛夏期にはつるが広く伸長します。広がったつるを持ち上げ、途中から出た根を切っておくと、幾分かつるポケを抑えられ、収穫が増えます。

【**収穫**】掘り上げは10月中旬ですが、8月中旬頃から探り掘りもできます。収穫は晴天の日を選んで行います。霜が降りる前に収穫しましょう。

ワンポイント アドバイス

土の中にたくさんの節が入るように茎を寝かせて植えつけると、手ごろな大きさのイモが多数収穫できます。



今津営農経済センター
施設販売課
大久保 智貴